

## 『毎日の情報Ⅰ』～毎日配信企画～

No.035

問1：以下の文章にある空欄〔①〕から〔③〕に当てはまる言葉をそれぞれ答えなさい。

情報技術の世界では、データの表現や記憶には様々な方法が用いられています。これらの数法システムにはそれぞれ特性と利点があり、それらは適切な用途に応じて使い分けられます。私たちが日常的に使用する数法は10進法ですが、コンピュータの世界では、より効率的な〔①〕(バイナリ)が広く使われます。この〔①〕(バイナリ)は、単純さと効率性のために2つの数字、0と1のみを用いて、データを表現します。例えば、"101101"というバイナリデータは十進法〔②〕という値を表現しています。しかし、大量のバイナリデータを扱う場合には、〔①〕(バイナリ)よりも扱いやすく、よりコンパクトにデータを表現できる16進法が使用されることがあります。16進法では、バイナリの"1101"は〔③〕と表現されます。

問2：以下の文章を読んだのち、ビッグデータの扱いに関して適切な文章を①～⑤の中で選びなさい。

近年、情報技術の発展により大量のデータが生成され、それを解析し活用する「ビッグデータ」の概念が注目を集めています。これには、個人の消費行動や健康状態、気象情報、SNSの投稿等、様々なデータが含まれます。その中には、個人を特定できる情報も含まれることから、その扱いには十分な配慮が必要とされます。

- ① ビッグデータの利用は、プライバシー侵害の危険性があるため、全面的に禁止されるべきである。
- ② 個人を特定できるデータは、無許可で収集・利用しても問題ない。
- ③ ビッグデータは単なる情報の集合体であり、全体的な傾向を分析するだけで個人を特定することはできない。
- ④ ビッグデータの分析により、市場の予測や災害対策などに有効活用することが可能である。
- ⑤ ビッグデータの利用は特定の分野に限定され、他の分野ではその価値はない。